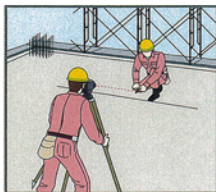
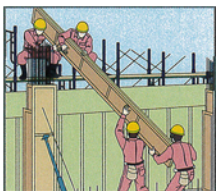


# 型枠工事-作業の流れ



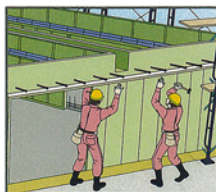
## 1 墨出し

杭打工事後が、型枠大工の出番。墨出しとは、水平垂直を確かめ決められた共通の印をつける作業。工事中も幾度もこの作業が行われる。



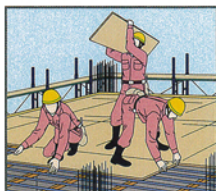
## 2 柱・梁型枠の組立

ビルを支える柱や、梁の型枠を作る。型枠大工は、あらかじめ下ごしらえをしておいた柱、梁の型枠材を現場で組み立てる。



## 3 内壁型枠の組立

ビルの内壁用の型枠を組み立てる。



## 4 床型枠の組立

2階部分の床、つまり1階の天井を作るための作業。



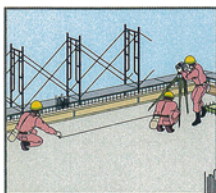
## 5 外壁型枠の組立

2階部分の床、つまり1階の天井を作るための作業。



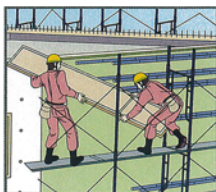
## 6 建て入れ直し

柱、壁の倒れを補強修正するために、今まで作業を進めた場所を再度チェックし、サポートとチェーンで柱、壁を固定する。



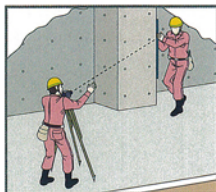
## 7 墨出し

1階の基準を2階にそっくり移すための墨出し。基準心(柱心・壁心)や柱、梁の位置、寸法を出す。



## 8 型枠外し(解体)

型枠の中に流し込んだコンクリートが固まったら、型枠を外す作業に掛かる。



## 9 仕上げの墨出し

型枠を外し終わると、仕上げの墨出し作業をして、窓枠、天井などの位置寸法をコンクリート面に記入する。